

神戸市内の居場所を対象としたコロナ対応に関する緊急アンケート 調査結果

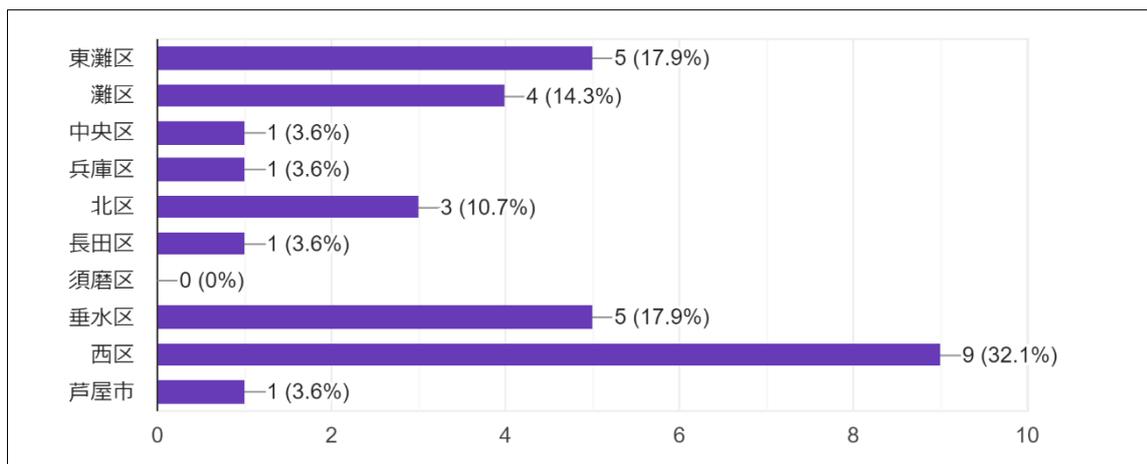
(外部共有用)

- 調査目的：新型コロナウイルスで活動の休止および縮小を余儀なくされている居場所の現状を把握し、必要とされている支援策等を検討するため
- 調査対象：神戸市内の居場所 46 か所
※居場所データ集の掲載団体で、メール周知が可能な団体を中心に抽出（一部 LINE で案内）
- 調査期間：2020年4月17日（木）～19日（土）3日間
- 調査手法：Google forms によるネット回答
- 回収状況：28 団体（回収率 60%）
- 調査主体：認定 NPO 法人コミュニティ・サポートセンター神戸（CS 神戸）
- 調査分析協力：兵庫県立大学政策科学研究所 NPO 研究連携センター

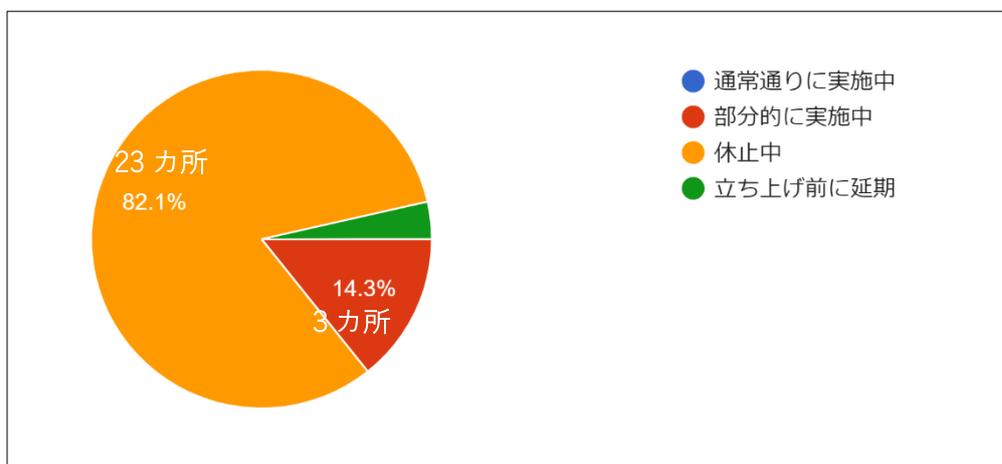
【調査結果の要約】

1. 神戸市の要請を受け、休止中・延期の居場所が圧倒的に多い（23 力所：82%）。
部分的に実施中はわずか（3 力所：14.3%）。
2. 休止期間はほとんどが 5 月 6 日まで。状況によってさらに休止延長の予定。
3. 部分的に活動実施中の居場所は、規模を縮小して実施している。
4. 休止中にもかかわらず多くの居場所が、利用者への連絡・情報提供・見守り・安否確認などは継続している（19 力所：68%）。
→困難な状況でありながらも、地域の居場所の運営者は、ニュースレター、ハガキ、ポスター、電話、声かけなど、日頃使い慣れた伝達方法で地域とのつながりを維持しようと努力している。
→小さな取り組み（マスク作成と配布、室内体操の提案など）は、居場所と利用者の長期的な信頼関係を築く基礎となる。
5. 物資不足、資金、居場所同士の情報共有など課題が多い。特に居場所運営者の不安や危機感が強い。
→居場所運営者の不安解消のために居場所同士の意見交換・情報提供の機会が必要。

設問 1. 居場所の開催区（複数回答可）



設問 2 (1) . 新型コロナウイルス感染拡大下における活動の現状



設問 2 (2) . 上記質問で「部分的に実施中」および「休止中」と書かれた方は、どのように実施されているのが、休止の期間はいつまでなのか、など詳細をお書きください。

<休止中>

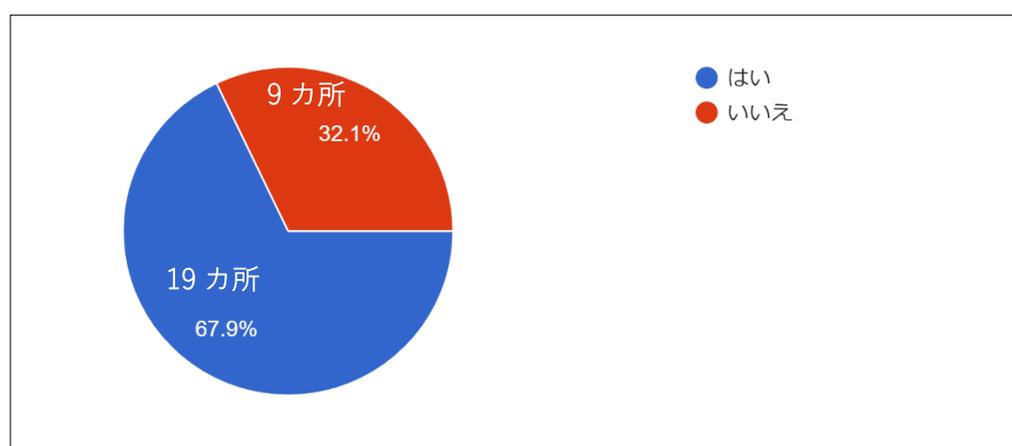
- ・ 神戸市からの指示通り。神戸市からの指示通り。神戸市の方針に従う。神戸市の指示で閉館
- ・ 神戸市からの中止要請(強力的)につき、休止(現在の所は。様子を見て5月末まで)
- ・ 現在5月いっぱいの休止予定。2月28日から、現在のところ5月6日まで。状況によっては5月も休止。緊急事態宣言が解除される5月6日まで休止。4月11日(土)から5月6日(水)まで休業。期間は、とりあえず緊急事態宣言期間。健康ひろばも同時に中断しています。公共施設の閉鎖で全く実施できない。休止期間：3月3日～5月6日
- ・ 4月22日カフェは中止 その後は今まで通り状況を見ながら決めていきます
- ・ 休止期間は現在のところ決まっていません。

- ・ 会場が使えるようになるまで未定。活動している公共施設が開館するまで、サ高住の施設利用の許可が出る迄休会
- ・ 4月から全面休止している。再開は未定
- ・ 前月中頃に感染状況・公的機関情報を参考に翌月の再開可否を判断。
- ・ 新型コロナウイルス感染が収束するまで。再開可能かどうかを判断。

<部分的に実施中>

- ・ 高齢者の居場所の活動は中止。子どもの昼食として弁当を提供。持ち帰りとお届け。
- ・ 基本的に分室内で活動は休止。野宿している人への支援は継続している、ミーティングはリモート会議。
- ・ オンライン動画配信や保護者に電話で対応
- ・ 毎日オープンは同じ、時短を20%減で実施

設問3（1）利用者や地域の方に対する何らかのフォローをされていますか。



3（2）上記質問で「はい」と答えられた方は、具体的にどのようなことをされていますか。

<ニュースレター、ハガキ、ポスター等で連絡>

- ・ 「おしらせ!!」文章を郵便受け・FAX・TEL・携帯・メール等で連絡
- ・ ハガキで、会員さんに連絡。毎月の通信とカレンダーを全会員に送ってお知らせ。手渡しでお届けのときは、声かけ。
- ・ 会員にニュースを送付
- ・ 近況、メツメッセージ、イラストを入れてプリント配布
- ・ 活動報告書と簡単なあいさつ文の送付を予定
- ・ 会場に中止のお知らせを張り出しています。
- ・ 商店街に開催中止の各ポスターを貼る
- ・ 「サロンだより」などを発行し、参加者などに配布予定

<電話・メール・訪問等での安否確認>

- ・ 電話かけ、電話にて中止案内、同時にお元気ですか？連絡。電話で中止の連絡、その時に近況を伺う。電話をしたり近くの人情報を聴いている。電話やメールなどで安否確認、ひとり暮らしの方には電話している
- ・ カレンダーを家まで持って行く。ポスト投函。その時安否確認、カレンダーの配布、電話での安否確認
- ・ LINE コミュニティ内での、情報共有やシェア
- ・ 中止のお手紙をポスティング（約 40 名）できるだけ声をかけている。
- ・ 毎月の開催の有無をメール、SNS に送っている。
- ・ 「お元気ですか。みなさんつながってますよ」というメッセージを発信。
- ・ 体調など気がかりな人には時々訪問や、電話などで近況を聞いている。

<マスク等の配布>

- ・ 手作りマスクや除菌シートの配布。
- ・ 住民有志が材料をもちより、手作りマスク作成し、配布予定（約 190 名分）

<プログラムの実施>

- ・ 毎日食事をされている方のみ、食事を提供している。宅配弁当は継続。
- ・ 休校にともなう子供と保護者への開放、軽食とお菓子提供お楽しみこどもスタンプカードで来場をうながし、子供の居場所として実施。こどもに近所の清掃などのちょっとしたボランティアをするとスタンプ 1 つ。10 個でプレゼント。
- ・

設問 4. こんなことに困っている、こんな支援があれば助かる・乗り切れるといったものはありますか。

<利用者の不安、健康の問題など>

- ・ ご参加の方々が、開催を待ち望んでおられますが仕方がないです。
- ・ 緊急事態宣言が出ていて休所扱いとなっている為、電話を掛ける等も管理職員の手前はばかられる。
- ・ 地域の人々の不安がみえる。認知症の人が不安そうです。
- ・ 場所が狭いので大勢と一緒に集まることができない。
- ・ スタッフが遠方で通勤に公共交通を利用しているため、いつまでできるかが不透明。
- ・ 心が弱くなる、孤独になるので、それが心配。家庭菜園や庭に出る作業や体操ができる人はいいが、マンション住まいの人などは本当に缶詰になるので心配。

<物資不足>

- ・ マスクを作成しているが、材料不足。白い布、マスクゴムが欲しい
- ・ マスクを作っているのですが白い布や布ゴムがありません困っています。
- ・ 食材お菓子など
- ・ コロナマスク、アルコール

<資金>

- ・ 家賃の支払いが、あまり長引くとしんどくなる。今のところは、なんとか乗り切れそう。
- ・ こどもたちむけ、保護者向けに動画配信をしていますが、この費用はどこから工面するのが難しい。
- ・ 休止で収益はないが、家賃の支払いがある、
- ・ 助成金をもらっているが活動ができない
- ・ 他の事業（リサイクルショップ・貸室スペース）も休止している為収入がない。家賃の補填をして欲しい
- ・ 資金

<特になし・落ち着くのを待っている>

- ・ 居場所の開催者としては特に困っていることはありません。
- ・ 今のところ何とかできています。
- ・ 困っていることは、具体的にありません
- ・ 今のところは事態が収まるのを待っています。
- ・ 20 数年の活動実績があり、再開すればすぐにでもみなさんが参加できる対応がとれるので、特に心配していません。（みなさん再開を待ち望んでいますが）
- ・ 早く活動が出来る事を期待する。

<情報提供・意見交換希望>

- ・ 他の居場所の運営されてる方の情報、参加者さんとのコミュニケーション方法など。家にいたら情報が入らないので教えていただくと嬉しいです
- ・ 何か出来る事は無いかと模索するも、現状では難しい→何か方法があると思うので、意見交換が出来れば良いと思う。（例えばグループラインのような繋がりを持って話せる場があれば良い）
- ・ 5月6日を過ぎてても高齢者は3密は勿論外出をも避けるべきと感じている。その中で精神的ストレスに悩み始めたご利用者方に何をして差し上げられるのかアドバイスが欲しい。
- ・ 全く活動出来ていない現状に「何とかしなくては？」と思いがあっても、三密ない活動場所が見当たらないことが困っています。特に子どもに有効な企画がないか知りたい。
- ・ 終息後、交流の場への参加が今まで通り戻るのか。家にこもってしまうのでは、と危機感がある。せっかくの居場所活動やコミュニティー作りが減速しないよう、改めての啓発が必要
- ・ 公園で開催や野外活動を推進してほしい

設問 5. その他なんでもお書きください。

<高齢者や子どもへの対応が大事>

- ・ 高齢の独り暮らしの方の行き場がまったくなくなっています。この状況が続くといろいろな問題が出てくると思いますが、今はどうすることもできません
- ・ 子どもと高齢者の居場所がない。マスコミ報道で、学校が休校になり、勉強が遅れてたいへんだというように、親の不安をあおるようなものが目につきます。
- ・ 自分で乗り切れない層の「子ども・高齢者への精神安定剤がほしい！」何か良い薬はないでしょうか？

<情報共有の必要性>

- ・ 情報提供をお願いします！
- ・ コロナでもこんな活動をしていることの「現在の居場所活動通信」的な広報手段の工夫！
- ・ 個別の困りごとの把握がしにくい。必要な支援が共有されればと思います。
- ・ ネット会議程でなくても、家飲み会のような形(飲食ではなく)で意見交換の場を CS さんが作って頂ければ。グループラインも一つの方法と思う。

<居場所維持のための工夫・課題・提案>

- ・ 細々でも開けてくれているのが安心感につながるとおっしゃっています。
- ・ 休止出来ない事業がありスタッフの健康を守れるか、誰かが感染した時の対応等先が見えないのでとても不安です。少ないスタッフの中での交替勤務等工夫していますが事業所の努力だけでは困難ですね。どうしても動かないといけない事業についても補填されれば人も雇用出来ると思う。
- ・ 高齢者の運動不足が心配。3密を避け、運動不足にならないようにお過ごしくださいと明記しました。

<その他>

- ・ 自宅に閉じこもるより誰かと会って楽しい時間を過ごしたほうが免疫アップでコロナ対策につながっている。
- ・ 近隣の施設の閉所も決まりました。垂水区の感染が確認できないので心配です。
- ・ 年間の活動計画の先が見えない。柔軟に対応するために何を準備しておけばいいのか？
- ・ 今はみんなが力を合わせて自粛すること。これは次世代社会へと繋がることだと思います。デメリットばかりが取り上げられますが、子どもや家族とゆっくり過ごせるいい機会もあると思います。楽しんで過ごしていきたいと思います。
- ・ 近隣センターの空き店舗で「休憩所」として不特定多数の地域の方々を対象として運営しています。「密閉」は窓を開けるなどでなんとかしても、「密集・密接」はその性格上及び場所が狭いこともありどうにもできません。一時中断は致し方ないと考えています。

以上、ご協力ありがとうございました。